

## News & Information

### ソニー教育財団 第11回「科学する心」を見つけよう フォトコンテスト 入選作品発表

子どもたちの探求や感動の姿をとらえた写真 45 作品が入賞

公益財団法人 ソニー教育財団(会長:盛田昌夫)は、主催する「科学する心」を見つけよう フォトコンテスト(募集期間:2017年7月1日から2018年2月28日)の入選作品を発表しました。

本コンテストは、就学前の子どもを被写体とし、「日常のふとした瞬間に芽生えた驚きや気付き、探求や感動の姿」をとらえた写真を保護者から募集するもので、今回で開催11年目を迎えました。

応募総数279作品の中から、審査委員会による厳正なる審査の結果、「科学する心賞」(1作品)、「いきいき賞」(8作品)、「きらり賞」(36作品)、合計45作品を選出いたしました。すべての入選作品は、ソニー教育財団のホームページ(<http://www.sony-ef.or.jp/>)でご覧いただけます。

ソニー創業者の井深大は、未来を生きる子どもが思いやりと責任感のある人に成長するために、乳幼児期から「心をはぐくむ」ことが大切だと考えていました。ソニー教育財団は本コンテストを通じ、保護者の方々が子どもの成長を注意深く見つめ、子どもたちの「科学する心」である好奇心や創造性の芽生えに気付かれることを願っています。

## 入選作品

### ■科学する心賞 1作品



飛べーっ! (2歳)

ダイチさん(秋田県)

押す力の加減で水の飛ぶ距離が変わることを発見してみたいです

#### <審査講評>

タイトルの「飛べーっ」という子どもの元気な声が聞こえてくるような、いきいきとした表情の作品です。どこにでもある身近な素材を子ども自身が自由に工夫して遊びに使っている姿に、保護者が「科学する心」を感じ、作品にしたことが高く評価されました。大好きな「水」が、関わり方によって様々な飛び方を楽しむ姿は、2歳児らしい素朴な探求です。

この作品は、特別な場所で、特異なものに関わっている子どもの姿を捉えたものではありません。だからこそ、子どもが自由な発想で創意工夫して満足するまで繰り返し遊んでいたであろうことが鮮やかに伝わってきます。まさにこのような体験の中で、「科学する心」が豊かに育まれているのではないのでしょうか。

## ■いきいき賞 8作品



こりゃ大物だ！／まーくん(山梨県)



なんで1粒だけ！？／8porori(岡山県)



影っていくつあるの？／はる(東京都)



すべり台／花月(徳島県)



みてー！すごく早くまわってる！  
／くるくる3兄弟(宮城県)



届け！／EIK(奈良県)



ふしぎならめっこ／ゆいかとそうま(千葉県)



とんでいけ～！／ゆうこねこ(滋賀県)

きり賞(36 作品)および入選作品の詳細は、ソニー教育財団のホームページをご覧ください。  
<http://www.sony-ef.or.jp/sef/contest/gallery/>

2018 年度は、各地の科学館などで、入選作品の写真展開催を予定しています。開催時期が決まり次第、ホームページに掲載いたします。

### 第 11 回「科学する心」を見つけよう フォトコンテスト 概要

保護者が撮影した就学前の子どもの「科学する心」が伝わる写真を募集

<b>募集期間</b>	2017 年 7 月 1 日(金)～ 2018 年 2 月 28 日(火)	
<b>各賞と賞品</b>	<b>科学する心賞:</b>	ソニー製 HD デジタルビデオカメラまたはデジタル一眼カメラ
	<b>いきいき賞:</b>	ソニー製デジタルスチルカメラ
	<b>きり賞:</b>	アルミ製フォトフレーム
<b>審査委員長</b>	盛田昌夫	公益財団法人 ソニー教育財団 会長
<b>審査委員</b>	町田和子	社会福祉法人湘北福祉会 あゆのこ保育園 理事・顧問
	八木義順	撮影家
	高野瀬一晃	公益財団法人 ソニー教育財団 理事長

## ソニー創業者 井深大とソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年に「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも拡げ、この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。

2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心を育てる」こと、「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱にした教育助成を行っています。教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む「“科学する心“を見つけよう フォトコンテスト」など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団

東京都品川区北品川 4-2-1 TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035

(担当 山下)